

平成24年度 第1回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成24年4月10日（火） 10時30分～11時54分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，福本文化教育学部長，平地経済学部長，濱崎医学部長，林田工学系研究科長，藤田農学部長，稲岡附属図書館長，兒玉教養教育運営副機構長（機構長代理），門出海洋エネルギー研究センター長，事務局長

欠席者 なし

陪席者 後藤学長室長，大島学長補佐，

- 学長から，前回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。
- 学長から，構成員の異動に伴う福本新文化教育学部長，平地新経済学部長の紹介があった。

【 報告・連絡事項 】

（1）全学委員会の見直し状況について

総務課長から，本件について，全学委員会の見直し及び会議の効率的な運営への改善について，平成23年3月から学長室で検討を開始したものであるが，学内の各会議を経て，平成24年3月現在の報告がまとまったので報告するものであること，目標としていた2/3まで減には至っていないが，全学委員会数は81.8%に，全学委員会開催回数は82.6%に減ったこと，今後，学内の各会議に結果を報告するとともに，「会議の効率的な運営について」（平成23年6月17日学長室）に基づき，全学委員会に限らず，学部等の会議においても，効率的な会議の運営の推進を依頼していく旨の報告があった。

（2）本庄キャンパスジョギング大会について

総務課長から，本件について，本学学生らのボランティア団体「NPO法人佐賀大学スーパーネット」の企画で，平成24年6月23日（土）に本庄キャンパス及び学外周辺道路（歩道）において開催されるものであり，今回は，初の事例であるため，周知の意味もあり報告するものである旨の説明が

あり、引き続き、本大会の実行委員長でもある佐藤産学官連携推進機構副機構長から、開催目的や企画・運営、留意点等について補足説明があった。

その後、構成員から、今後、同様の事例があった場合を鑑み、実施についての申請手順等のルール化の必要性や当日、部活動を行う学生らへの周知を学生委員会等から行う必要性等について意見があった。

(3) 大学評価・学位授与機構「大学情報データベース」の運用停止に伴う今後の措置について

企画評価課長から、本件について、「大学情報データベース」の運用停止の経緯、平成24、25年度の代替措置の検討状況、平成26年度から本格運用を目途に進められている「大学ポートレート（仮称）」の検討状況について説明があり、独立行政法人大学評価・学位授与機構から、第2期の国立大学法人評価においてもデータに基づく分析作業が必要であるためデータ提出の依頼があっており、各部局等においても提出に協力いただきたい旨の依頼があった。また、学長から、成果について評価反映経費を予定する旨の発言があった。

(4) 平成25年度施設整備費 概算要求の基本方針について

中島理事から、本件について、中期目標・中期計画（第2期）の背景・施策、平成24年度施設整備予算案の状況及び平成25年度施設整備概算要求における基本方針について説明があり、平成24年度施設整備予算案実績に即した事業の選択を進めることとし、附属病院の再整備、耐震性が低い等安全上支障がある施設の優先的整備、老朽施設の機能改善を基本方針としている旨の説明があった。

(5) 平成24年度入学者数について

入試課長から、本件について、平成24年度の確定した入学者数の特徴として、学部においては、充足率106.5%であったこと及び今年度の女子学生比率の特徴について、大学院においては、充足率107.3%であったこと及び充足率の最低目標値である90%を割った4専攻についての報告があった。

学長から、4専攻への定員充足率の向上と、充足率が130%を超えることも問題があり、各学部における入学者数の扱いについては、前期・後期の本学合格者の決定の際に十分留意願いたい旨の依頼があった。

(6) 平成23年度就職内定状況について（4月1日現在）

就職支援課長から、本件について、昨年度と同時期での比較説明があり、学部で0.2%増、大学院で1.6%増、総計で0.5%増の概ね昨年度並みである旨、4月11日の役員会報告後に公表する旨及び5月1日現在で最終報告を行う旨の説明があった。

また、就職した学生らの3年後の離職率の状況、「その他」や「不明」とカウントされている学生の追跡、教員の学生就職状況入力 of 徹底等の意見があった。

(7) 認知症サポーター養成講座（案）について

学術研究協力部長から、本件について、平成22年度から開始したものであり、これまで本学で8回を開催し、事務系職員はほぼ100%に達していること、他機関等での実施状況及び佐賀県における取組状況の報告があった。

また、今後の同養成講座を拡充していくために、キャラバンメイトの増員の必要性や受講対象者の拡大のための取組計画について説明があった。

(8) 引用文献データベース（スコーパス）の利用開始について

附属図書館長から、本件について、導入までの経緯の説明及び4月から正式に導入となったこと、各部局等において周知いただき、大学院生や文系教員にも利用をお願いしたい旨の依頼があった。

その後、学長から、附属図書館の図書貸出状況だけでなく、各学部等にある図書館（室）についての利用状況も把握し、貸出冊数にカウントしてはどうかとの意見があった。

(9) 各学部の課題と取組（組織の見直しについて）

学長から、4月の教育研究評議会では「各理事室の課題と取組」として意見交換を行うこととしており、5月の教育研究評議会においては、「各学部の課題と取組（組織の見直しについて）」を意見交換の議題とする予定であるため、各学部長に準備の依頼があった。

(10) その他

特になし。

以上